

碧南ロータリークラブ週報

第2478回例会 平成21年11月11日(水)

● 会長 鈴木 並生 ● 幹事 棚田 道和 ● 会場監督 (SAA) 新美 真司

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
 ■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
 E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 岡本明弘・新美雅浩・大澤明敬・西脇博正



● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

由仁RC 竹田光雄様 (北海道由仁町長)



鈴木並生会長

会 長 挨拶

今日のメーキャップには北海道由仁町の由仁RCより竹田町長がお越し頂いています。ご案内のとおり、由仁町と碧南市は友好姉妹都市関係にあり、卓話の前にご挨拶を頂きたいと思えます。先程、皆様に食べて頂いたりんごは由仁町特産のりんごで竹田町長からの贈り物です。りんごが取れるのは青森までかなと思っていましたが、北海道でもこんなおいしいりんごが収穫できるのかと改めて認識した次第です。

さて、先日の日曜日を挟んで開催された地区大会の報告をさせていただきます。第1日目の7日の土曜日は豊橋の名豊ビルという所で出席義務者の会長、幹事、会長エレクトの3名で出席してまいりました。通常のセレモニーの後、ロータリーミーティングには第2700地区のpastガバナーである福岡西RCの廣畑富雄さんの話が聴けました。「ロータリーの心と原点」という書物を執筆され、ロータリーのことをよく勉強されてみえ、非常に参考になる話が聴けました。特に、印象に残ったことを紹介させていただきます。まず一点目は、ロータリーの集まりは本来、インフォーマルな集まりであるべきこと、二点目は例会を重視するということ、三点目は「サービス」と「奉仕」は同一ではなく、本来は違うもので、米山梅吉氏は「奉仕」とは言わず、「サービス」と言っていた。「サービス」とは相手のことを思い、相手のためになる行為を言う。「奉仕」とは使い奉るという意味で意味合いが違っていると見えました。四点目は「職業奉仕」の重要性を強調されて見えました。ポールハリスがロータリークラブを創設した時は職業の異なる人が集まっている様々な悩みをみんなで話し合ったものでした。また、職業分類の必要性についても強調されて見えました。第2日目の日曜日は記念講演が午前中にあり、静岡県知事の川勝平太氏より「日本の文化力が世界を導く」という演題で講演を頂きました。メインの記念講演が午前中にあった関係で午後からのセレモニーの参加者が大変、少なくなってしまう、最後には2割程度の寂しい感じとなっております。第3日目は久々に東海カントリーでゴルフ大会があり、参加してまいりま



した。全体を通じて、ホテルでやるのと手作りの会場でやるのとはかなり趣も異なり、碧南で数年前に地区大会を主催し、関係された皆様が苦勞された当時のことが色々な場面で頭によぎった今回の地区大会でした。以上で地区大会の報告をかね、会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は別紙幹事報告書の通りです。
- ・理事会報告の中で会員の杉浦昌裕君より10月末で退会届が出されました。
- ・協議事項の委員会規定の変更については本日のクラブフォーラムでCLP委員会よりご説明があります。
- ・地区大会にはたくさんの皆さんにご出席頂き、ありがとうございました。取り分け、会員の杉田さんには場所取りをして頂き大変、助かりました。
- ・GSEの研修生が11月6日に来碧し、中部電力碧南火力発電所で研修会を行いました。その折には、会員で所長の犬塚さんと、通訳として坂本さんに大変、お世話になり、ありがとうございました。



棚田道和幹事

ビジター挨拶

北海道第2510地区、由仁RC所属の竹田です。職業は由仁町の町長です。我が町のことについて少し、ご紹介させていただきたいと思っております。由仁町にはこの碧南RCの中にも何度かお越し頂いている方が見えるかと思っております。取り分け、石川春久さんには十数年来のお付き合いをさせて頂いており、中日ドラゴンズで木俣さんがコーチをされている時、石川さんのお取り計らいにより、北海道



竹田光雄 由仁町長(由仁 RC)

遠征にみえた折にわざわざ選手の方々が由仁町にお立ち寄り頂き、子どもたちに野球教室を開催して頂きました。その時に参加した子どもたちはいまでもしっかりと当時のことを覚えています。

由仁町は北海道の道央よりやや南に位置しています。札幌市までは車で1時間、距離は40kmくらい、最寄りの地下鉄駅までは35分くらい、千歳空港までは25km、車で35～40分くらいの位置にあります。またトヨタ自動車も進出しましたが、苫小牧まで40km、1時間くらいの距離で比較的、交通の便に恵まれた町であります。現在、人口もだいぶ少なくなり、町が誕生してから120年くらいしか経っていない歴史の浅い町ですが、農業を基幹産業として地域の経済の一端を担っているところであります。農業ができる耕作地は6千haくらいで町の半分くらいありますが、その中でも水田が主な主要作物になります。農家経済は大変、厳しい状況が続いています。また数少ない町内の中小企業経営者の皆さんもこの経済不況で同様に厳しい状況であります。加えて我々、地方自治体も国の三位一体改革ということで地方への財政支援の方法も大きく変わり、地方財政も厳しい状況となっております。農工商バランスの取れた安全で安心して暮らして頂ける心豊かな町づくりを目標に町政を進めているところであります。また企業誘致についても積極的にお願いをしているところで、農業が基幹産業ですので農産加工業的な企業が来て頂けるとありがたいなと思っているんですが、今、スウェーデンに本社のあるポテトチップスの会社が進出の検討をされています。中国も韓国も考えたが原料が安心できる日本の北海道に工場を作りたいという有難いお話が来ているのですが、この世界的な経済不況の影響で中断しており、残念ながら、見守っている状況であります。まちづくりもロータリークラブの4つのテストにありますように、公平かどうか、みんなのためになるかどうか、まちづくりにも全く同じことが言えます。ロータリークラブのメンバーの一人として念頭に置きながら、町政をすすめているところであり

ます。

さて、碧南市の皆さんとのご縁の始まりは明治28年くらいに加藤さんという碧南の方が20名程の住民の方と由仁町に開拓に入られたのが始めて、その由来で三川地区という名前が残っています。そういうご縁で今から21年前に当時の碧南市の小林市長と由仁町の大山町長が会談し、大山町長から青年を中心にスポーツ・文化の交流活動をして頂けないかお願いをさせて頂いたとのことです。小林市長も快諾を頂き、以来、多くの皆さんが行政だけでなく、一般の団体の方々を中心に交流をして頂いています。碧南市とは、人口も違うし、産業経済、文化、歴史、どれを取っても由仁町とは格が違います。町の財政力を取ってもとんでもない差がありますのでいつまでお付き合いをさせて頂けるのか不安もありましたが、永年に渡り、碧南市民の皆さんの大変、懐の深いご理解を頂き、感謝を申し上げているところであります。今日はロータリークラブの会員の一人として50年以上の歴史のあるクラブの例会に参加するという事は私も初めての経験で、10年くらいの短いロータリークラブ会員生活の中で以前、一度、苦小牧のクラブに参加させて頂いた以来で大変、感激をしております。今後も碧南市の皆さんと由仁町との交流が末永く続くことを祈念しております。私も町長に就任してまだ3年目、1期目であります。5年ほど前に来年3月で切れる合併特例法を使って近隣の3町と合併し、市にする試みもありましたが、ある町の住民の反対で流れてしまいました。自分が町長に就任してからは、時代の流れで自分のことは自分で責任を持ち、地方分権が進む時代に対応していくには財政力を整え、住民の皆さんに他の町と比べて公平なサービスを続けていく上で合併は不可避との考え方にたち、再度、チャレンジしましたが、同じ町の住民の反対で駄目になってしまいました。由仁町は6300人ほどの人口しかいませんが、これからも単独でしっかりとしたその器にあったまちづくりをしていきたいと考えていますので碧南市の皆さんからも、ロータリアンの仲間としても是非、アドバイスを頂きたいと思っています。本日は誠にありがとうございました。

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数76名(内出席免除者16名の内出席者8名)出席者56名	
出席対象者 56/66名	出席率 84.85%
欠席者20名(病欠者2名)	前々回修正出席率 98.53%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

由仁RC竹田光雄様（北海道由仁町長）

大変お世話になっております。青年友好都市としてよろしくお願い致します。今日はお世話になります。

長田 昌昇君 機械金属部会平松部会長始め、皆様にお世話になりました。又、杉田君にお世話になり、窮屈な思いをさせてすみません。

鈴木 並生君 } GSE研修会におきましては、坂本さん、大塚さんに大変お世話になりました。
棚田 道和君 } 誠にありがとうございました。地区大会には、大変多くの方のご参加いただきまして誠にありがとうございました。

石川 春久君 長い間、いつも大変お世話になっております。竹田町長、心より感謝し歓迎申し上げます。

平岩 辰之君 先週、商工会議所機械金属部会では、会長の平松太さん、長田昌昇さんには、大変お世話になりました。ありがとうございました。

平松 太君 先週、機械金属部会研修会で皆様に大変お世話になりました。内容のある研修会となりました。ありがとうございました。

クラブフォーラム

「CLPとロータリー」

CLP特別委員会 平岩統一郎委員長

碧南ロータリークラブは昨年50周年を迎え、大きな節目を迎えました。厳粛な式典と盛大な懇親会で成功裏に終わりましたが、これからどうしていくのかということで昨年、CLP特別委員会を作り、今年も引き続き活動をしています。今後どういう形にもっていくのかということですが、一言でいえば、時代に適合したロータリーということではないかと思えます。クラブ・リーダーシップ・プランの目的は効果的なクラブの管理の枠組みを提供することによってロータリーのクラブを強化することです。効果的なクラブとは、会員数の維持・増強、地元や海外の地域社会のニーズに沿った奉仕プロジェクトを実施し成功すること、ロータリー財団への資金面の援助、財団プログラムの実施、クラブの枠を超えるロータリー指導者の育成とあります。いずれもより高いレベルへクラブを導くことが目的であります。碧南ロータリークラブも資料に書かれているように色々な検討課題がありますが、それら



平岩統一郎委員長



長田豊治副委員長

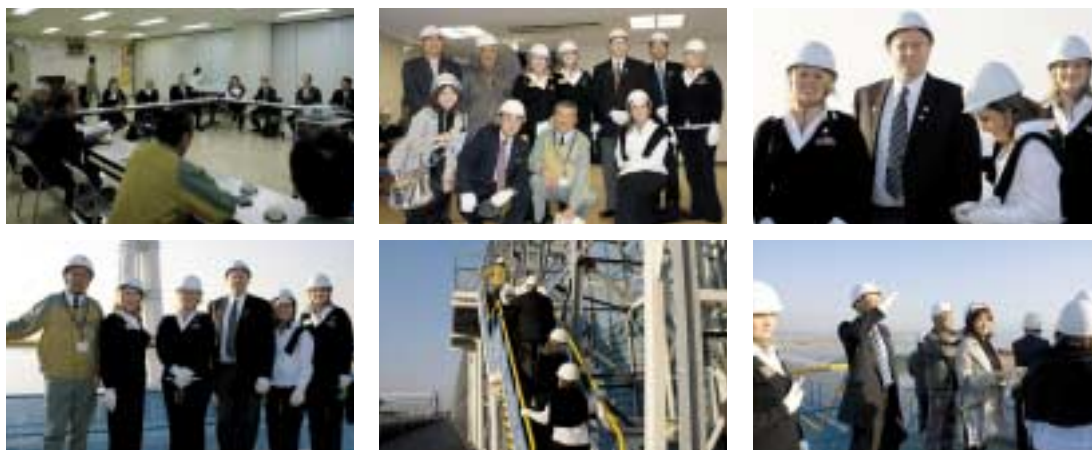
をCLP特別委員会で解決していこうと取り組んでいます。その中で変えるということはなかなか難しいことですし、碧南ロータリークラブの良い所はきちっと残し、変えられる所は変えていくことをどう進めていけば良いかを当委員会で進めているところです。碧南ロータリークラブのカラーは、非常に団結力があるが保守性が強く、変化をあまり好まないところではないかと思えます。ポールハリスは、例会に来ると心がなごみ、童心に帰る、神様になれるような気持ちになると言っています。毎日、毎日、激務の中で仕事をしていて週に一回の例会で皆に会える、緊張せずにはめをはずせるということが良いわけで、碧南のリラックスした雰囲気とおいしいお弁当を皆さんと和気あいあいムードで食べるといった、その辺のところは是非、残せるようなクラブであって、機能できるような組織にするにはどうしたら良いかということでもあります。どのあたりを変えていくのかということですが、たとえば、地区への取り組みですが、最近、碧南も50年経ったのだから、ガバナーを輩出したらどうかという周辺からの意見も出てきたり、また数年後には西三河の順番でガバナー補佐(分区代理)を輩出する年にもあたります。しかしながら、ガバナーを出すというのは非常に大変なことであります。また女性会員についても考え方の違いで入れる所はたくさん入れているし、そうでない所は全く入っていない現状です。時間の都合もありますので引き続き、現状把握につきまして副委員長の長田豊治君より報告頂きます。

以下、CLP特別委員会 長田豊治副委員長

皆さんのお手元にある資料に基づき、先週の理事会で委員会規定の改定をご承認頂きましたので、それについてご説明させていただきます。只今、平岩委員長より、碧南ロータリークラブの検討課題の中でいくつかお話を頂きました。CLP特別委員会も昨年からは始まり、何から手をつけようかという中で委員会構成の見直しに着手してきました。クラブ細則の中には、クラブ奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会という大委員会の中に必要な委員会を設置することになっていて、その中で委員会規定は個別の委員会について細かくその目的等々まで記載されていますが、それを見直すものであります。対外事業の取り組みについては過去の例もあり、非常に難しいということです。職業分類については現在71業種もあり1業種1名の当時の原則に基づき、苦しんで作ったのが現在も残っています。そのあたりについては検討、整理したものを職業分類委員会に資料としてご提案し、そちらで整理して頂きたいと考えています。最後になりますが、4ページに渡って改定案が配布されています。改定の骨子は3点です。クラブ奉仕委員会の中の広報委員会と雑誌委員会を統合し、広報雑誌委員会とします。地域発展委員会を社会奉仕委員会の事業の

中に吸収します。IT特別委員会はクラブ会報委員会の事業の中に吸収します。これらを来年の7月1日の奥田年度から実施します。3ページ目の(i)広報雑誌委員会の規定文で最初に「この委員会は、」という文言が抜けていますのでご訂正ください。以上、宜しくお願い致します。

研究グループ交換(GSE) 碧南訪問研修 (2009年11月6日 碧南火力発電所)



国際ロータリー第2760地区 地区大会 (2009年11月8日 豊橋市総合体育館)

□大会プログラム[第2日目]

- ・開会・点鐘
- ・国歌「君が代」
- ・ローターソング「奉仕の理想」
- ・物故会員黙祷
- ・歓迎のことば (大会実行委員長 神野紀郎氏)
- ・R.I.会長代理ご夫妻紹介
(R.I.会長代理 北清治氏)
- ・ガバナー挨拶 (ガバナー 大澤輝秀氏)
- ・記念講演 (静岡県知事 川勝平太氏)
- ・コンサート (豊橋交響楽団90名)
- ・R.I.会長代理挨拶及び R.I.会長メッセージ
- ・来賓祝辞 (豊橋市長 佐原光一氏、豊川市長 山脇実氏、豊橋商工会議所会頭 磯村直英氏)
- ・感謝状及び記念品贈呈・表彰
- ・大会決議委員会報告
- ・ガバナーエレクト紹介・挨拶
(ガバナーエレクト 田嶋好博氏)
- ・次年度ホストクラブ紹介・代表挨拶 (あま R.C.黒野晃太郎氏)
- ・R.I.会長代理講評
- ・閉会・点鐘



次回例会案内

平成21年11月25日 (水) 卓話「気功の三要素・三原則」

中日気功研究所 副所長、三河支部長 木村則昭氏